

ミャンマー・ヤンゴン/フィールドワークチャレンジコース

学 外 学 修 概 要	国・地域/都市	ミャンマー・ヤンゴンほか	期間	2020年2月12日(水)～2月26日(水)(予定)	
	学外学修概要	2011年の民生移管で民主化・経済開放後、急激な経済成長と共に発展を遂げ、欧米からも依然、熱い注目を浴びるミャンマー。経済成長に伴う都市開発や都市部の人々の食生活の変化を中心に学び、この国の近代化について考える			
	実施目的	日本政府機関、日系企業への訪問のほか仏教寺院・仏教文化施設への視察を通じ、短期間で大きな変貌を遂げるミャンマー経済・社会の動きについて知見を深めるとともにその勢いを体感する。また、現地大学で同世代の学生と交流を通じてミャンマーの現在に触れ、さらに自分の現在を見つめ直す。			
	主な学修先(予定)	<ul style="list-style-type: none"> 日系政府機関 日系企業 現地民間団体 	<ul style="list-style-type: none"> ヤンゴン外国語大学, ティンミャンマーランゲージセンター ヤンゴン市内やその他仏教の聖地 		
	主な活動内容(予定)	<ul style="list-style-type: none"> 日本政府機関、日系企業、現地民間団体への訪問 現地大学訪問や日本語学校への訪問と学生交流、日本事情/日本文化紹介 仏教寺院や仏教聖地の訪問 (視察先は事前学修で参加メンバーで調べ決めていきます) 			
	滞在先	ホテルまたはゲストハウス			
	参加費用(一人あたり)	約19万円 (自己負担額 約12万円～約15万円 ※受給する奨学金により自己負担額が異なります) ※上記費用に含まれるもの: 往復渡航費, 滞在費, 現地移動費, 食費			
	募集人数	8名 ※1名から催行可	前年度実績	2名	
	実施協力	ティンミャンマーランゲージセンター, ミャンマー神戸大学同窓会			

応 募 に つ い て	対象学生	学部	全学部	学年	1, 2年生	
	応募に必要な資格・能力	<ul style="list-style-type: none"> ミャンマーの経済や経済開放後のミャンマーの歩み、ミャンマー文化、または仏教文化に関心のある学生 日本語教育に関心がある学生 現地での活動を取組むために必要な英語力を有している学生 				
	募集要項URL	http://www.iphe.kobe-u.ac.jp/kobe-gcp/course/recruitment.html				
	募集期間	2019年10月21日(月)～11月15日(金)				
	応募書類	下記書類を揃え、大学教育研究推進室へ直接持参するか、メールで提出してください。(GEMs申請不可) ① 願書(写真付)(上記URLよりダウンロード) ② 志望動機書(上記URLよりダウンロード) ③ 英語力を客観的に示すもの(TOEFL, TOEIC, IELTS等)の写し ※派遣が決定した学生は、後日、健康診断書及びパスポート(写し)を提出していただきます。				
	選考方法	書類選考と面接(面接は書類選考合格者を対象に実施) ※書類選考結果は、願書記載のE-mailアドレスへ通知します。				
	留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 受給する奨学金は、JASSO奨学金または神戸大学基金からの助成金、いずれかとなります。どちらの奨学金を受給するかは参加決定後、審査を経て決定となります 参加する学生は海外旅行保険に必ず加入すること 学研災付帯賠償責任保険に加入していること 研修期間中は研修先の指示に従い、その規定等を遵守すること。 海外渡航中の危機管理対策として、「危機管理システム」への加入が義務付けられています。また、参加決定後、指示に従い、危機管理学修に出席すること。 				
	備考	当コースは高度教養科目「海外インターンシップ実習」で3,4年生対象にも募集します。3,4年生も参加する場合、一緒に渡航します。				
応募先/問合せ	神戸大学 大学教育推進機構 大学教育研究推進室 (鶴甲第一キャンパス N棟403) E-mail: f.tomomatsu(#)harbor.kobe-u.ac.jp ※(#)は@に置き換え、スペースを詰めてください					

<参考> 参加決定後のスケジュール(予定)

参加可否決定時期	11月下旬	事前学修時期・時間数	12月上旬～2月上旬・5コマ ※危機管理学修を含む
履修登録	参加決定後、こちらで履修登録を行います。	事後学修時期・時間数	3月中・3コマ
授与単位数	1単位 (総合教養科目「グローバルチャレンジ実習」)		